





重点分野2 (中目標)	東アジア地域共通課題への対応												
開発課題 (小目標)	<p>【現状と課題】 マレーシアは、国際海上交通の要衝であるマラッカ海峡に面している。同海峡の海上治安の確保、テロ対策の強化、密輸・凶悪事件等による治安悪化への対策は、我が国の安全にも直結する課題であると同時に、貿易をはじめとするアセアン域内全体の経済活動にも大きな影響を与える重要な事項である。また、鳥・新型インフルエンザに代表される感染症が、地域的な問題として顕在化している。 これらの課題についてはマレーシア国内のみならずアセアン域内の総合的な安全保障及びアセアン連結性の推進をはじめとする経済発展に対する取組が求められている。</p>				<p>【開発課題への対応方針】 マレーシアが我が国と協調して、我が国を含む東アジア地域の発展・統合に貢献できる分野について積極的に支援する。具体的には、アセアン統合に資する分野等、地域全体への貢献が認められる分野について協力を展開する。</p>								
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間					支援額 (億円)	備考		
東アジア地域共通 課題への対応	アセアン連携 推進プログラム	アセアン連結性関連（税関、標準化等）や、海上保安、感染症等の域内共通課題等、アセアン経済統合促進に向けて、我が国と協働しながらマレーシアの強みを活かした取組を推進する。	海上保安実務能力及び教育訓練制度向上プロジェクト	技プロ									
		スルタン・アフマッド・シャー海上保安アカデミー訓練機材整備計画準備調査	協準										
		海上保安強化を目的とした船舶搭載24時間監視カメラシステム普及・実証事業	中小企業支援										中小企業海外展開支援事業「普及・実証事業」
		経済連携協定における特恵原産地規則に係る透明性及び予見性向上プロジェクト	技プロ										
		アジア・太平洋地域における動物衛生対策活動支援事業	マルチ										農水省OIE拠出事業
		"ワンヘルス"による動物疾病対策・食料安全保障強化事業	マルチ										農水省OIE拠出事業
		アセアン+3緊急米備蓄体制確立拠出金事業	マルチ										農水省ASEAN事務局拠出金
		アセアン地域における食品加工・流通統計整備支援事業	マルチ										農水省ASEAN事務局拠出金（10か国対象）
		アセアン諸国の大学と連携した人体育成促進事業	マルチ										農水省ASEAN事務局拠出金（10か国対象）
		ミャンマー国向け税関研修所管理運用強化	第三国研修										
		カンボジア・ラオス・ミャンマー・ベトナム向け労働安全衛生管理	第三国研修										
		その他アセアン連携推進プログラム関連ボランティア派遣	SV										

重点分野3 (中目標)	東アジア地域を越えた日・マレーシア開発パートナーシップ										
開発課題 (小目標) 東アジア地域を 越えた 日・マレーシア 開発パートナー シップ	<b>【現状と課題】</b> 2010年、マレーシア政府は他国に対する技術協力等による二国間及び地域間協力であるMalaysia Technical Cooperation Programmeの監督省庁を経済企画院から外務省へ移管し、支援対象国との政治・経済の関係強化を進めている。マレーシア自身の対途上国支援（南南協力）をサポートする我が国の協力は、マレーシアの政策と整合しており、また、マレーシアの援助能力強化に資することから、日・マレーシアの従来の援助国・被援助国という垂直的・片務的關係から、国際社会の共通の発展を目指すためのパートナーとしての関係を更に強化する段階に来ている。					<b>【開発課題への対応方針】</b> 高中進国入りに伴いその位置付けの重要性が増してくるマレーシアのドナー化、具体的にはマレーシア政府の近隣諸国、アフリカ、イスラム地域等に対する同国の開発経験の共有および特にTICADIVフォローアップに対する支援を拡充する。なお、この支援にあたっては日本とマレーシアによるコストシェアを基本としつつも、受益国による費用負担の可能性を検討していく。					
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)
南南協力推進 プログラム	マレーシアの開発経験／強みやJICAの協力アセットを活かした南南協力案件の形成・実施を行う。同時に南南協力の一層の実施を促進するためのパートナーシッププログラム形成を促進する。	アフリカ諸国向けTQMおよびカイゼンを通じた生産性強化	第三国研修	2015 年度 以前	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度		
		アフリカ諸国向け投資促進	第三国研修								
		アフリカ諸国向け貿易振興	第三国研修								
		アフリカ諸国向け中小企業振興	第三国研修								
		統合的な生物多様性・生態系保全	第三国研修								
		アフリカ諸国向け初等理科教育 (構成主義に基づく教授法と内容知識の強化)	第三国研修								

【凡例】 「協準」(＝全ての協力準備調査)、「詳細設計」(＝詳細設計)、「技プロ」(＝技術協力プロジェクト)、「開発計画」(＝開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(＝個別機材)、「国別研修」(＝課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(＝青年海外協力隊)、「SV」(＝シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」(＝第三国研修)、「現地国内研修」(＝科学技術) (＝科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(＝草の根技術協力)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(＝無償資金協力)、「有償」(＝円借款、海外投融資)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「中小企業支援」(＝中小企業海外展開支援事業「ニーズ調査」)、「案件化調査」及び「普及・実証事業」、並びに基礎調査、実線「———」(＝実施期間)、破線「- - - -」(＝実施予定期間)